

幼児の自然体験型環境学習プログラム

プログラム名	つながって、進もう、探検隊	
対象年齢	5歳児	
メッセージ	人間も自然物も、いろいろな感触や肌ざわりをもっていることに気づく	
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> 発見・体感 仲間と協力をする。 自然の形、色、感触を楽しむ。 自由な発想で名前をつける。 	
参加者のめやす	幼児 20人	支援者 3人
実施時間	30分	
フィールド	 森・社寺林・公園 山・里山 川 湖・池 田畑・野原 園庭・公園	
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:00	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに並び 箱を見せて、何が入っているか、自然探しゲームをすることを伝える。 ルール説明 (移動の仕方) 引くところから、模造紙に貼って名前をつけるところまでやる。 引いたものを触る。 	<ul style="list-style-type: none"> 6つのグループに分けて並べる。 移動の仕方(行きは絶対に木を触る。帰りは手をつないで帰ってくる) 実際に触れてみることで、感触を得る。
0:10	探す時間 <ul style="list-style-type: none"> 手をつないで、必ず誰か1人が木に触っていないといけない。 袋の中に入っているのと同じものを見つけてくる 見つけたものは、スタートに持ってきて、模造紙に貼る。 模造紙に貼ったら、名前を自由につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 行きは手をつないで木に触っていくようにする。 帰りは、手をつないでいればOK。 子ども達が自由な発想で名前をつけられるようにする。

時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
0:25	<ul style="list-style-type: none"> 早く終わったグループはまた箱から引いて、探しに行く。 模造紙の前に集まる。 「こんなものが見つかった」「こんな名前をつけた」という話をする。 木や自然物に触った感想を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 各グループが名付けた名前を発表する。(1グループ1つは発表する)
0:30	<ul style="list-style-type: none"> 終了 	
【園や家庭へ帰ってから】 園で <ul style="list-style-type: none"> 実や葉っぱだけでなく、虫や小動物にも名前を付ける。 園庭で同様にプログラムを行う。 発見したものの名前投票をする。 家庭で <ul style="list-style-type: none"> 園庭でつながりながら、サーキット遊びをする。 降園時に親子でくじをひいてもらい、家庭の近隣で自然を探してもらおう。 園でテーマを出し、家庭にあるもの(お皿やヤカンなど)を触ってもらい、自然物と比較する。 		
準備物・教材等	<ul style="list-style-type: none"> A4のラミネートした紙 箱 箱の中に入れる自然物 ジップロック 紐 	<ul style="list-style-type: none"> 両面テープ 油性マジック ガムテープ類